

令和5年度「小中学校ジョイントスクール推進事業」北稜中学校区実践計画書

事務局 根岸小学校（担当：教頭 佐々木 義智）

1 主題（4年次）

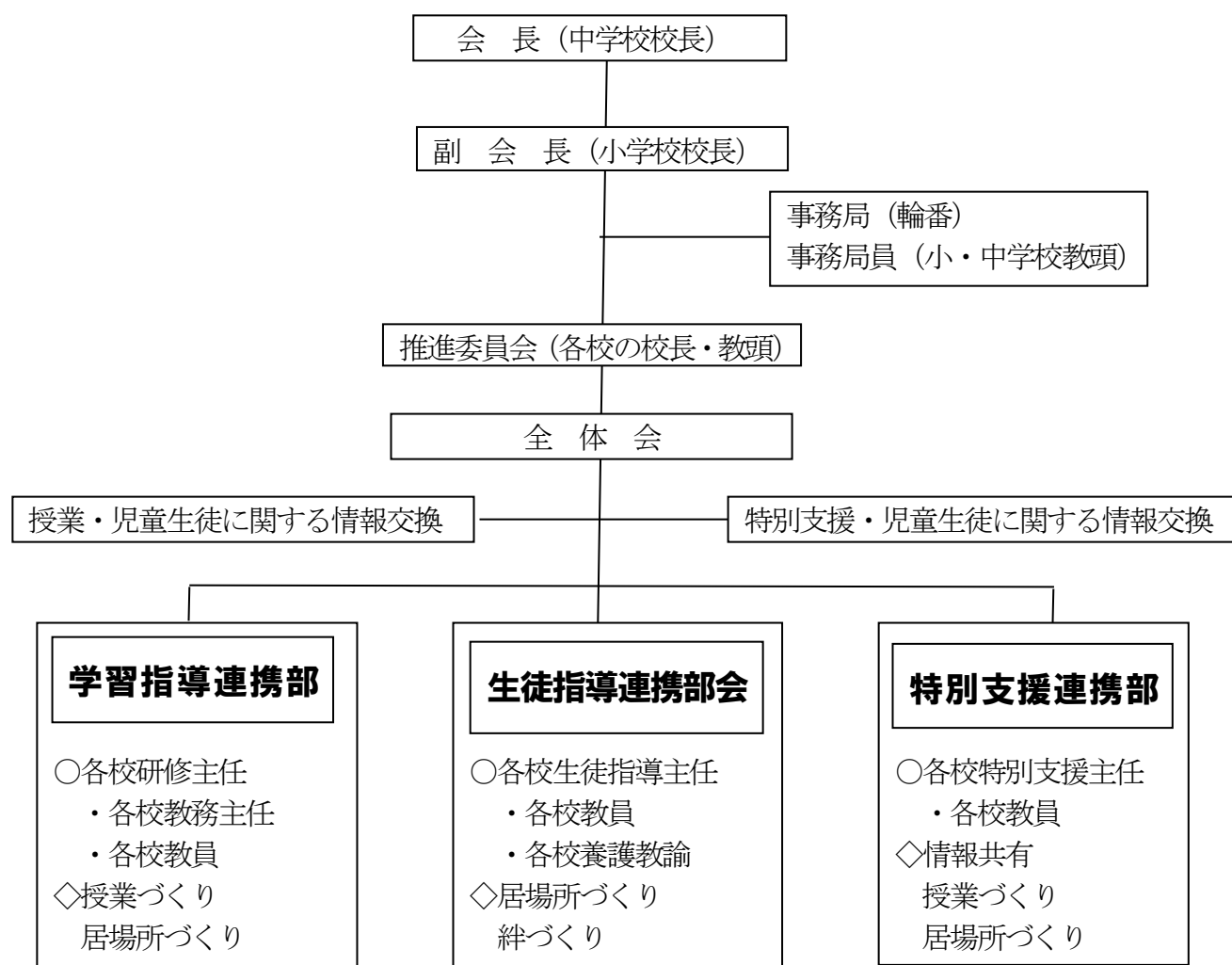
『夢をもち、人とのかかわりの中で自己を高めていこうとする児童生徒の育成』
～授業づくり・居場所づくり・絆づくりの視点での小・中連携を通して～

2 主題設定の理由

北稜中学校区（根岸小学校、日計ヶ丘小学校、北稜中学校）では、令和2年度から3年計画で「授業づくり・居場所づくり・絆づくり」の視点で教育活動を捉えなおし、自分の考えを伝えあう態度を育てる授業づくり、不登校の未然防止とよりよい集団づくり、児童生徒個々の自己有用感や自己存在感を高める取組について実践してきた。しかしながら、この期間は正にコロナ禍の3年間であり、制限された教育活動の中では、十分な取組や期待されるような大きな成果は挙げることはできなかった。

以上のことから、これまでのテーマを継続して研究をリスタートすることとした。内容については、コロナの収束を見通して、児童生徒間及び児童生徒と地域の方々等との直接的な交流を生かして、児童生徒が良好な人間関係を築く能力や生き生きと生活をしていくための能力を習得させたい。この能力を「中1ギャップ」の軽減につなげるとともに、児童生徒が居場所を実感することで安心して学習や様々な活動ができるようにしていきたい。さらに、今年度より日計ヶ丘小学校を統合した根岸小学校と北稜中学校の2校体制になったことを生かして、今まで以上に連携して研究を進めていきたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

北稜中学校区 「魅力ある学校づくり」重点指導項目

- 自分の考えを伝え合う態度を育てる問題解決的な学習を取り入れた授業づくり
- 明日も来たくなる居場所づくり
- 自己を高める基本的生活習慣の形成と周囲との絆づくり
(あいさつ・適切なメディアとの付き合い方)
- キャリアパスポート等を活用した自己の成長を実感できる場の設定

5 今年度の小・中連携の具体的な計画

月	日	曜日	内 容	備 考
4	20	木	推進委員会【北稜中学校】 ・今年度の方向性について ・今年度の実践計画・組織について	各校校長・教頭
5	中旬		部長会議【オンラインも含めて担当同士で調整】 (各部会) ・重点指導項目の具体的取組内容について ・アンケート実施について	各校研修・生徒指導・特別支援の各主任
5	31	水	第1回J S合同研修会【北稜中学校】 ・授業参観 ・各部会 ・全体研修会	
11	27	月	第2回J S合同研修会【根岸小学校】 ・授業参観 ・各部会(振り返り) ・全体研修会	
1	18	木	推進委員会【北稜中学校】 ・成果と課題 ・次年度の取組について	各校校長・教頭

6 今後の取組についての確認事項

- (1) 推進委員会の案内は、事務局が発送する。
- (2) 実践計画等については、推進委員会で協議し決定する。ただし、各部会の研究内容等については、各校のそれぞれの主任会議で協議する。
- (3) 実践計画書及び報告書の内容は推進委員会で検討する。作成・提出は、事務局(輪番制)が行う。
 ※事務局(輪番制) R. 5(根岸小)⇒R. 6(北稜中学校)
 - ①各部会の名簿づくり
 - ②全体会の司会及び各部会の司会進行
 - ③当日の日程表と会場の準備
 ※会場校：第1回J S合同研修会(北稜中学校) 第2回J S合同研修会(根岸小)
- (4) 各部会の部長は、事務局校の研修主任・生徒指導主任・特別支援教育主任とする。
 事務局校以外の各主任は副部長とし、2校の主任で連絡を取り合いながら部会のもち方や具体的な取組について検討して進める。
- (5) 第2回J S合同研修会について
 授業参観後、三つの部会に分かれて今年度の取組について振り返りを行い、成果と課題をまとめる。また、児童生徒に関する情報交換を行う。